

【速報】

7月14日の大雨による松原・下笠ダム洪水調節の効果について

◆松原・下笠ダムの洪水調節の効果

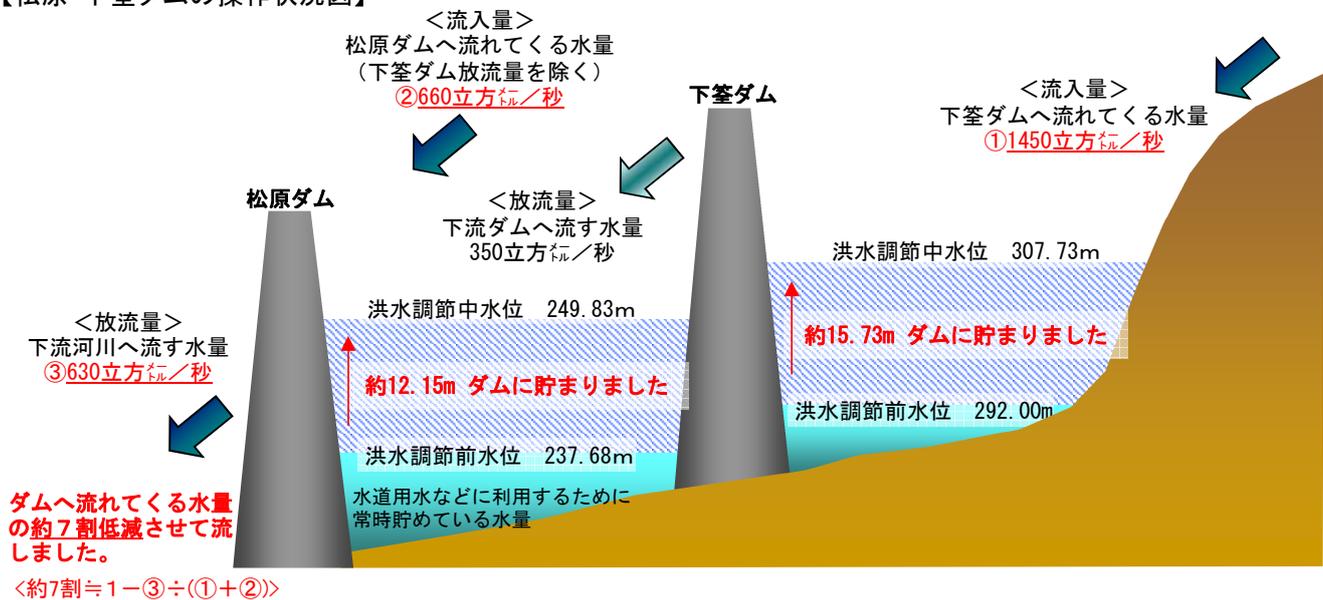
ダム下流の小淵水位観測所地点において、今回の大雨による河川の最高水位を約0.48メートル低下させ、はん濫危険水位以下に低下させる効果がありました。

◆筑後川水系松原・下笠ダムの上流域において、13日16時から総雨量は334mm、14日6時から2時間で80mmの雨量を観測し、両ダムへの最大流入量は毎秒約2110立方メートルに達しました。

◆松原・下笠ダムの洪水調節(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

松原・下笠ダムへ流れてくる水量の一部を両ダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約7割低減しました。

【松原・下笠ダムの操作状況図】



【松原・下笠ダムの効果】

